平成21年度　土木部6月補正予算案の概要

■要求方針

1　国補正予算の「経済危機対策」を活用し、「安心と活力の基盤づくり」として、社会資本ストックの耐震化・予防保全対策、洪水等防災対策等の対応を図ります。
2　道路等、県民の生活に密着した生活基盤の改善により、安全・安心の確保と地域の活性化を図ります。

■補正予算の規模

平成２１年度６月補正予算額	７４億６，０９８万円
一般公共事業費	５３億８，２９６万円
県単公共事業費	１０億０，０００万円
維持補修費	１０億７，７００万円
計（公共事業費）	７４億５，９９６万円
一般事業費	１０２万円

■補正予算の概要

◆国庫補助事業：国の「経済危機対策」に対応した補助事業を実施します。（国道改築事業ほか　）**【64億円】**

◆底力発揮・21世紀型インフラ整備（国土ミッシングリンクの結合）

【県の施策メニュー】
幹線道路ネットワークの整備　［国道改築、国道第一種改良、地方道改築、重要幹線街路］
港湾インフラの強化　［港湾修築、広域資源活用護岸整備］

「国土ミッシングリンクの結合」とは
高速道路や幹線道路が国土、県土の中で分断された状態となっている所を繋ぐということです。

◆安全・安心確保等

【県の施策メニュー】
社会資本ストックの耐震化･予防保全対策　［橋りょう補修、海岸堤防等老朽化対策、都市公園整備など］
ゲリラ豪雨、洪水・高潮等防災・災害対策等　［災害防除、広域基幹河川改修、総合流域防災など］
交通の安全確保対策　［交通安全施設等整備など］

◆水産物供給力の強化

【県の施策メニュー】
水産基盤の整備　［漁港環境整備統合など］

◇県単独事業：身近な生活基盤の改善による安全・安心の確保と地域の活性化を図ります。（生活基盤緊急改善事業）**【10億円】**

◇安全で安心できる生活環境の整備

交通安全対策　［見通しスッキリ!!安全対策、法面再生など］
自然災害防止対策　［河川洪水対策、急傾斜地対策など］

◇地域経済活性化の推進

地域の活性化を支援する基盤整備　［地域づくり支援道路整備など］

資料

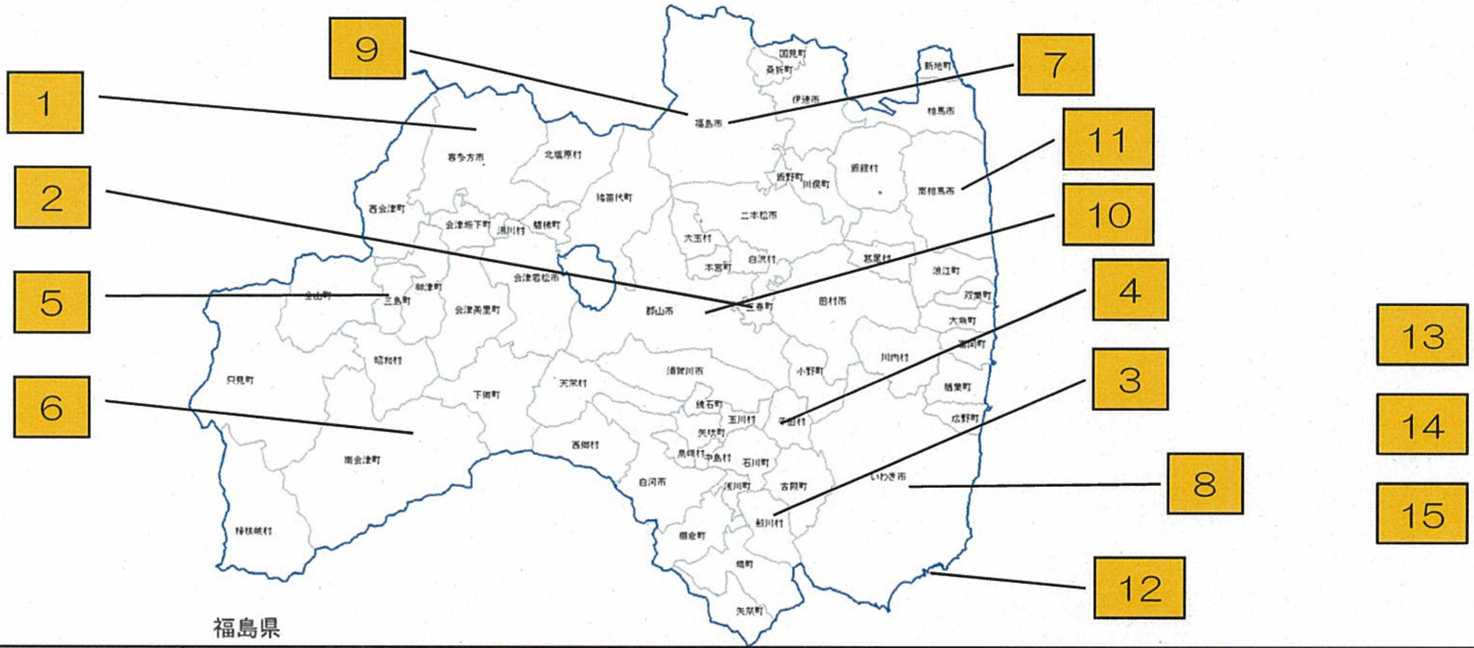
平成21年度6月補正予算案による主な実施予定箇所

～補正予算により事業を実施した場合の整備効果を表しました～

平成21年6月5日

福島県土木部

平成21年度6月補正予算案による主な実施予定箇所

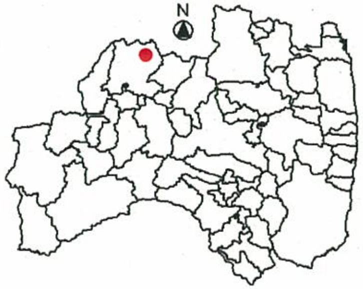


番号	事業名	路線名・河川名等	工区名	所在地	主な工種	補助・県単	ページ
1	国道改築事業	国道121号	大峠道路	喜多方市熱塩加納町	橋梁・改良・舗装工	補助	P1
2	国道改築事業	国道288号	三春西バイパス	三春町貝山	改良・舗装工	補助	P2
3	国道改築事業	国道349号	鮫川バイパス	鮫川村赤坂東野	改良工	補助	P3
4	地方道改築事業	(主)矢吹小野線 (福島空港・あぶくま南道路)	福島空港 平田工区	玉川村・石川町・平田村	改良工	補助	P4
5	国道第一種改良事業	国道252号	早戸バイパス	三島町早戸	改良・トンネル工	補助	P5
6	災害防除事業	国道121号	向山	南会津町長野	ロープ掛工	補助	P6
7	橋りょう補修事業	(一)山口渡利線	松齢橋	福島市渡利	高欄補修工	補助	P7
8	重要幹線街路事業	平磐城線	花畑	いわき市小名浜	用地補償	補助	P8
9	都市公園整備事業	あづま総合運動公園		福島市佐原	テニスコート改修工等	補助	P9
10	広域基幹河川改修事業	一級河川桜川		三春町雁木田	掘削・護岸工	補助	P10
11	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	角部内海岸		南相馬市小高区	波返し・天端補修工	補助	P11
12	広域資源活用護岸整備事業	小名浜港	東港	いわき市小名浜	埋立護岸工	補助	P12
13	生活基盤緊急改善事業	交通の安全確保対策	道路の各種対策メニュー			県単	P13
14	生活基盤緊急改善事業	自然災害防止対策	河川の各種対策メニュー			県単	P14
15	生活基盤緊急改善事業	地域活性化を支援する基盤整備	地域づくり支援道路整備			県単	P15

補正予算の充当により平成22年内に供用

国道121号「大峠道路」（喜多方市）＜平成8年度～22年度（予定）＞

● 国道１２１号は山形県米沢市を起点とし、栃木県芳賀郡益子町に至る幹線道路ですが、旧道は幅員が狭く、線形が著しく悪いため幹線道路としての機能が果たせない状況でした。



● 冬期間においては、積雪により、通行止めを余儀なくされるなど、物流などの経済活動や沿線住民の日常生活に大きな支障を来しておりました。※平成4年度の部分供用により通行止めは解消。

＜部分供用の状況＞

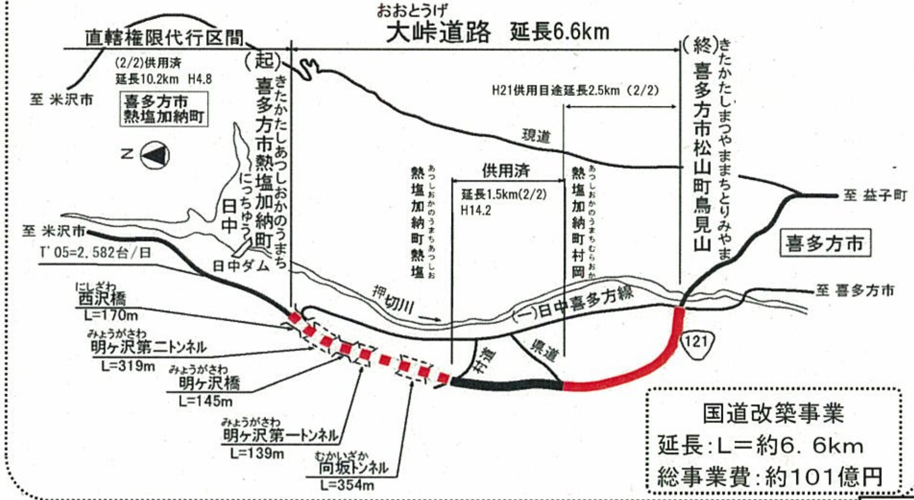
＜整備状況（西沢橋）＞

◇大峠道路整備効果◇

◎ 喜多方市～米沢市間の時間短縮が図られるほか、広域的なネットワークの形成により、人や物の交流が促進されます。

◎ 年間を通して安全で安心な通行が可能となります。

＜旧大峠の状況＞



全線供用に向け事業推進

国道288号「三春西（みはるにし）バイパス」（郡山市～三春町）＜平成9年度～21年度（部分供用）＞

- 国道２８８号は郡山市を起点とし双葉町に至る幹線道路ですが、郡山市西田町（にしだまち）大田（おおた）～三春町（みはるまち）貝山（かいやま）間については、市街地の混雑や幅員が　狭く大型車すれ違い困難など沿道環境の悪化や円滑な通行の確保が課題となっています。

- 平成２３年春、国道２８８号沿線の「田村西部工業団地」（田村市船引町・田村郡三春町）に自動車関連工場が操業する予定であり、雇用が創出され、地域経済の活性化が期待される一方で、従業員の通勤による車両や大型車の増加が予想されております。

＜混雑状況＞

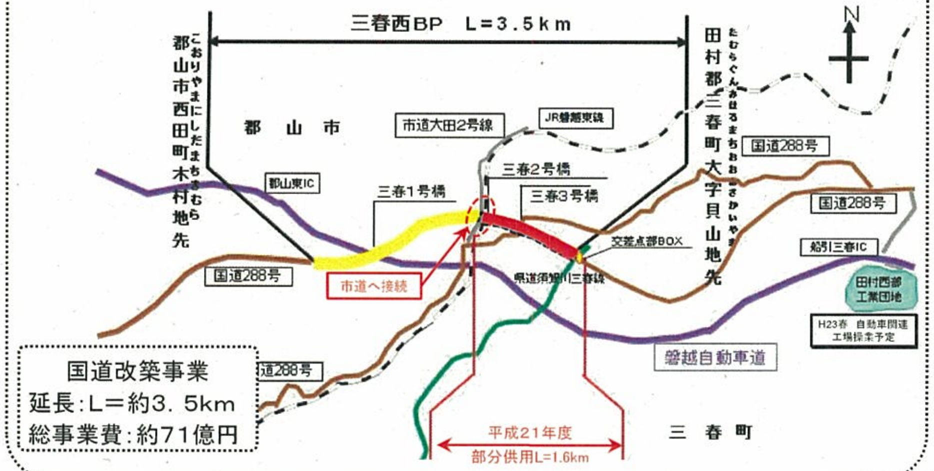
＜混雑状況＞

◇三春西バイパス整備効果◇

◎　全線供用により、移動時間が短縮され、物流コストの縮減など、企業活動を支援します。

◎　通過交通がバイパスへ転換し、市街地の混雑緩和や事故危険性の軽減など沿道環境が改善します。

＜整備状況＞



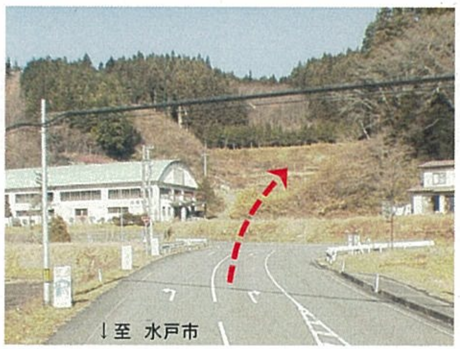
全線供用に向け事業推進

国道349号「鮫川バイパス」（鮫川村）＜昭和61年度～平成24年度（予定）＞

● 国道３４９号は茨城県水戸市を起点とし宮城県柴田郡柴田町に至る幹線道路であり緊急輸送路の二次確保路線に位置づけられるなど、日常生活や災害時の緊急輸送に重要な路線です。

● 鮫川村中心地においては、線形不良かつ幅員が狭いため、歩行者の安全な通行に支障を来しているほか、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行確保が課題となっています。

＜部分供用の状況＞



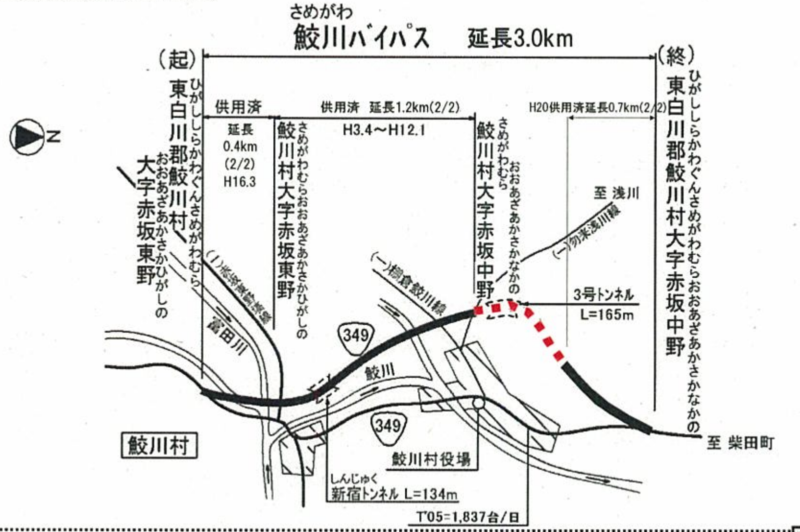
＜部分供用の状況＞

◇鮫川バイパス整備効果◇

◎ 通過交通がバイパスへ転換し、事故危険性が軽減されるほか、自然災害時の緊急輸送が確保され、安全・安心な生活環境が改善します。

＜現道状況＞

国道改築事業
延長：L＝約3．0km
総事業費：約41億円



全線供用に向け事業推進

（主）矢吹小野線「あぶくま高原道路」（福島空港IC～平田IC）

■ 位置図

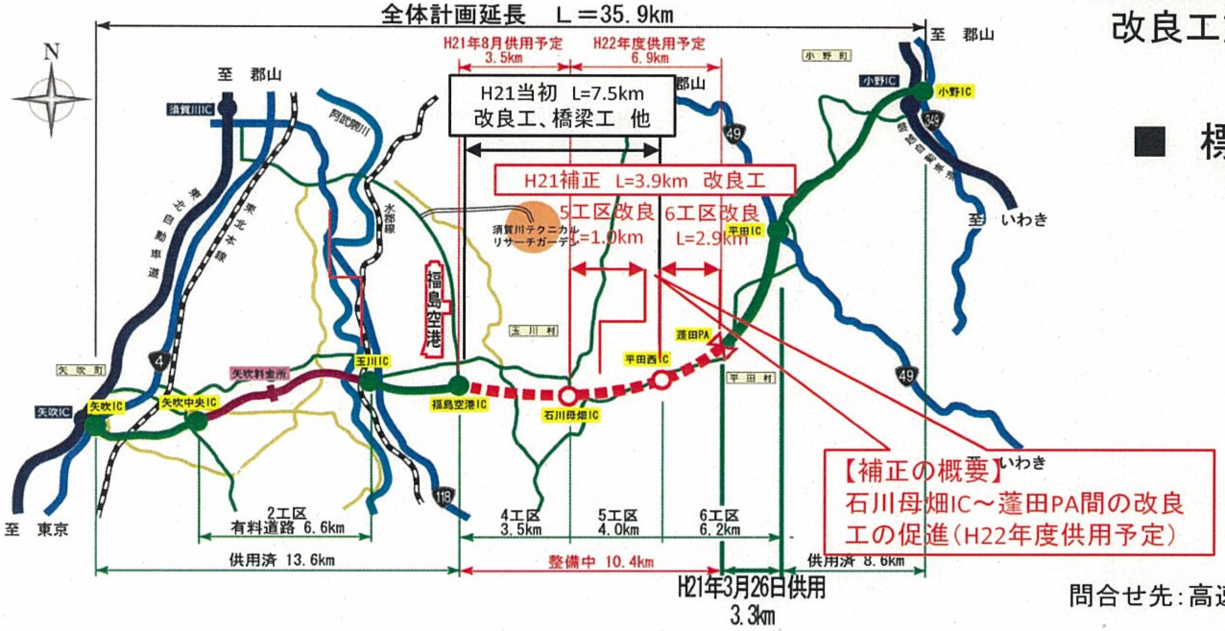
■ 整備状況

5工区
＜石川母畑IC～平田西IC間
改良工施工状況＞

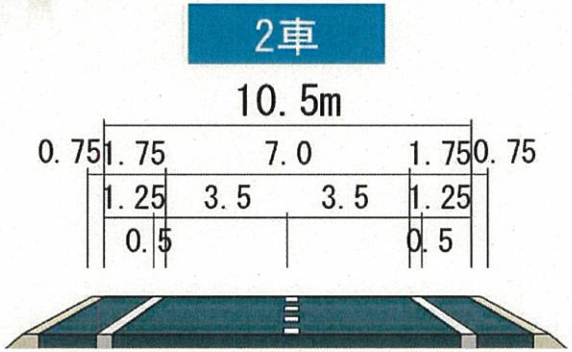
6工区
＜平田西IC付近
改良工施工状況＞

■ 事業概要図

福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）



■ 標準幅員

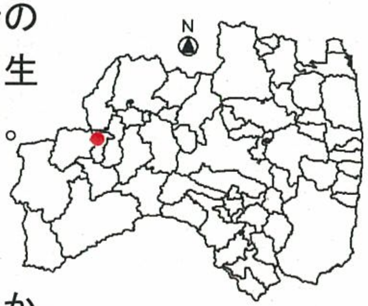


問合せ先：高速道路室　室長　安孫子　電話　024－521－7885

全線供用に向け事業推進

国道252号「早戸(はやと)バイパス」（三島町）＜平成20年度～＞

● 国道２５２号は新潟県柏崎市を起点とし、会津若松市に至る幹線道路であり、災害時の代替路線が無いなど、沿線住民の生活にとって非常に重要な路線です。



● 三島町(みしままち)早戸(はやと)地内においては、幅員が狭く、屈曲しているため、円滑な通行に支障を来しているほか、落石危険箇所や老朽化による雪崩防護施設（スノーシェッド）の漏水対策が急務となっています。

＜整備状況＞

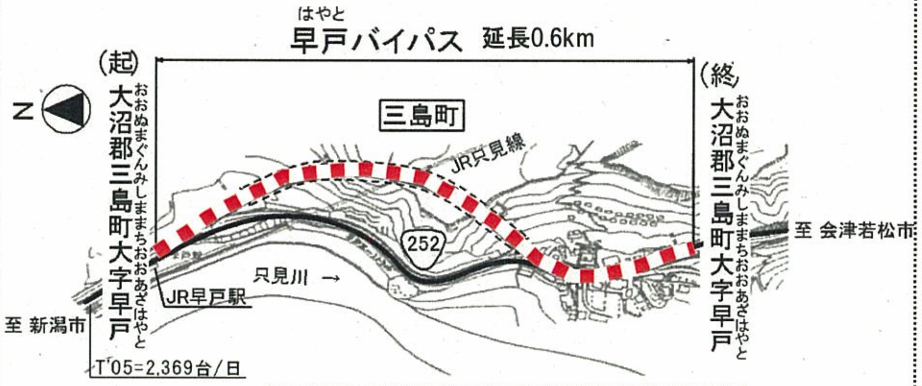
＜整備状況＞

◇早戸バイパス整備効果◇

◎ 道路の幅員狭小や屈曲部が解消され、年間を通して安全・安心な通行が可能となります。

◎ 落石危険箇所の解消により、自然災害時の緊急輸送および安全・安心な生活が確保されます。

＜現道の状況＞



国道第1種改良事業
延長：L＝約0．6km 総事業費：約15億円

落石危険箇所を解消し交通の安全確保を図ります

国道121号「向山工区」（南会津町）＜平成21年度～＞

● 国道１２１号は、山形県米沢市を起点とし、栃木県益子町に至る延長約２４５ｋｍの主要幹線道路であり、南会津町向山地内は平成２１年１月に落石が発生し、落石対策が急務な箇所であります。

◇向山工区の整備効果◇

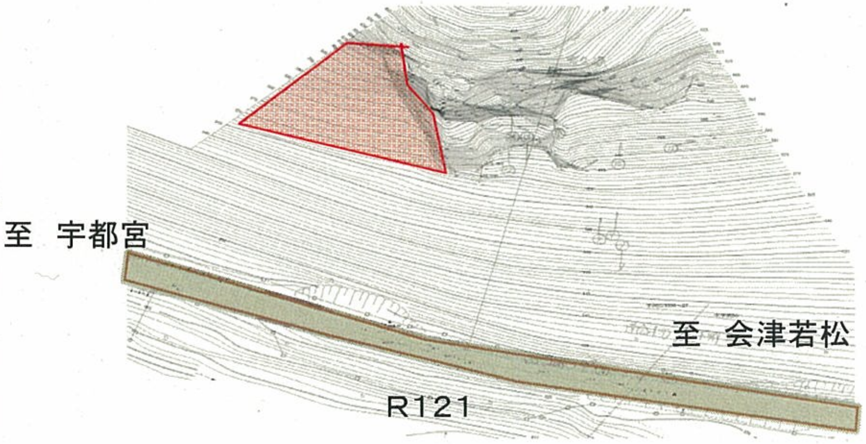
◎　落石対策をすることで、落石危険箇所の解消が図られます。

◎　道路利用者の安全・安心の確保が図られます。

◎　落石対策工の早期着手により、交通の安全を早急に確保できます。

向山工区　L=100m W=6.0(8.0)m

平成21年度6月補正　ロープ掛工



＜　落　石　状　況　＞

＜　整備イメージ　＞

問合せ先：道路管理課　主幹　高橋　電話　024－521－7468

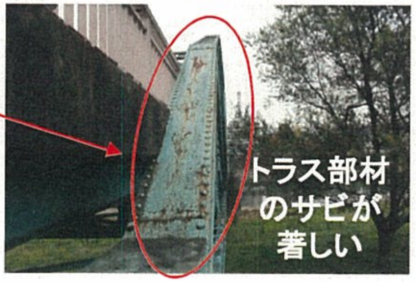
歴史ある橋梁の保全と道路利用者の安全確保を図ります

県道山口渡利線「松齢橋（しょうれいばし）」（福島市）＜平成21年度～＞

● 県道山口渡利線は、福島市山口地内から同市渡利地内を結ぶ延長約６kmの生活道路です。

本橋は、大正１２年に完成した県内でも有数の歴史をもつ橋梁ですが、高欄をはじめ各部材の損傷が著しく、早急な補修等の対応が必要となっています。

＜松齢橋の全景＞

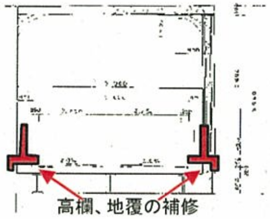


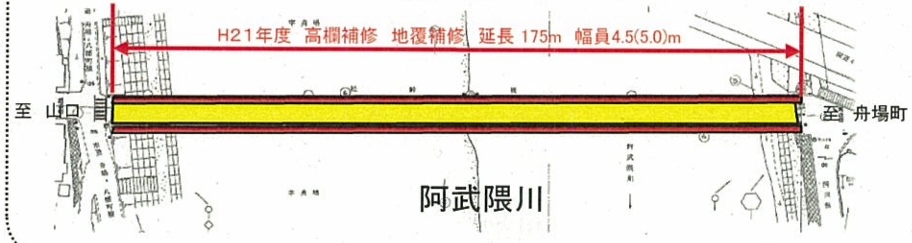
◇（一）山口渡利線松齢橋の対策及び効果◇

◎ 高欄や地覆の補修を行うことで道路利用者の安全確保が図られます。

◎ 損傷部の補修により橋の長寿命化を図り、歴史ある橋の文化的価値を保全します。

◎ 高欄の塗装や地覆コンクリート部の補修により、橋の美観を向上させ、景観の向上を図ります。





問合せ先：道路管理課 主幹 高橋 電話 024－521－7468

「みなと」と「まち」の連携を強化します！
～都市計画道路　平磐城線「花畑工区」（主要地方道　小名浜平線）～

事業位置図

事業の目的と概要

● 本路線は、物流・観光の拠点である重要港湾小名浜港から、小名浜市街地を経由し、いわき市中心市街地の平地区を結ぶ重要な幹線道路であり、緊急輸送路にも指定されています。
本路線の整備では、混雑の著しい２車線道路を４車線に拡幅するとともに、幅広歩道の設置や電線地中化を実施し、ゆとりある道路空間を創出します。
また、本路線は、市の「景観形成重点地区」に指定されており、地域住民により沿道景観の向上が図られます。

【全体事業】
・事業延長　L=876m
・期　　間　平成16～26年度（目標）

● 6月補正により、用地取得を促進し、早期にアクセス道路としての整備が可能となります。

【平成２１年度６月補正予算】
・事業内容　用地補償　N=１式

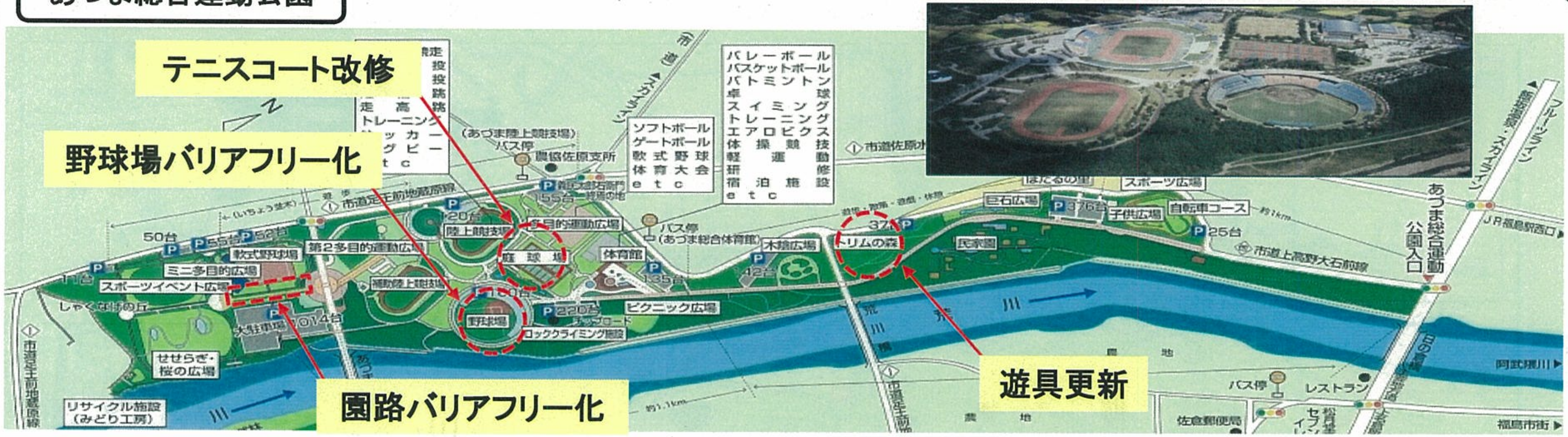
6月補正による効果

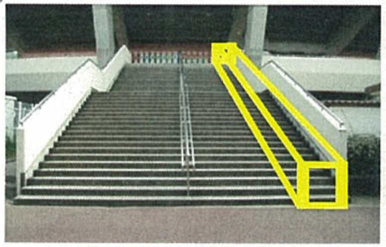
● いわき市小名浜支所から終点までの区間について、用地取得を促進することで、現道2車線から4車線への改良に着手する時期が1年前倒しできます。

問い合わせ先：都市総室　まちづくり推進課　主幹　石田
電話　024－521－7867　県庁内線（3652）

老朽化した公園施設をリニューアル！
～都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業～

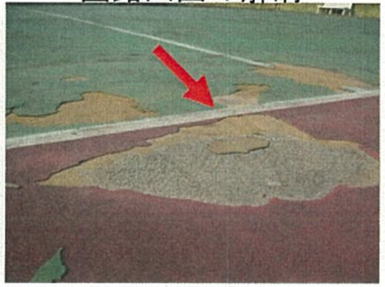
あづま総合運動公園




野球場昇降装置設置

園路凹凸の解消

遊具の更新


テニスコートの改修

補助事業の拡充について

公園施設の維持管理については、従来、財政上の制約の中、県単独費にて部分的な補修・修繕を実施してきたところです。

今年度から補助事業の制度拡充が図られ、公園施設の改築・更新が取り組めることとなったことから、あづま総合運動公園の老朽化した施設をリニューアルするとともに、バリアフリー化に取り組むものです。

6月補正による効果

老朽化が甚だしい公園施設をリニューアルすることで利用者の安全を確保します。また、施設のバリアフリー化により、車いす利用者などの利便性の向上が図られます。

問い合わせ先：都市総室　まちづくり推進課　主幹　石田
電話　024－521－7867　県庁内線（3652）

洪水被害から、桜川沿川の安全な暮らしを守ります

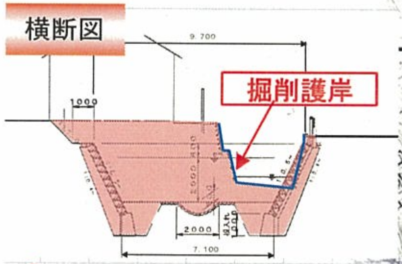
～慢性的な床上浸水被害の解消～

目的

桜川は、集中豪雨等により、頻繁に浸水被害が発生しており、最近では、平成10年7月の集中豪雨、平成12年8月の集中豪雨など、過去10年間で延べ浸水家屋数205戸、うち床上浸水個数51戸という甚大な浸水被害が発生しているため、概ね5ヶ年で改修を行い、慢性化している床上浸水被害の解消を図ります。
補正では、掘削工を実施し下流部のネック区間の解消を図ります。

事業概要

事業名　：　広域幹幹河川改修事業
施工箇所　：　三春町
保全対象　：　人家660戸、田畑20ha

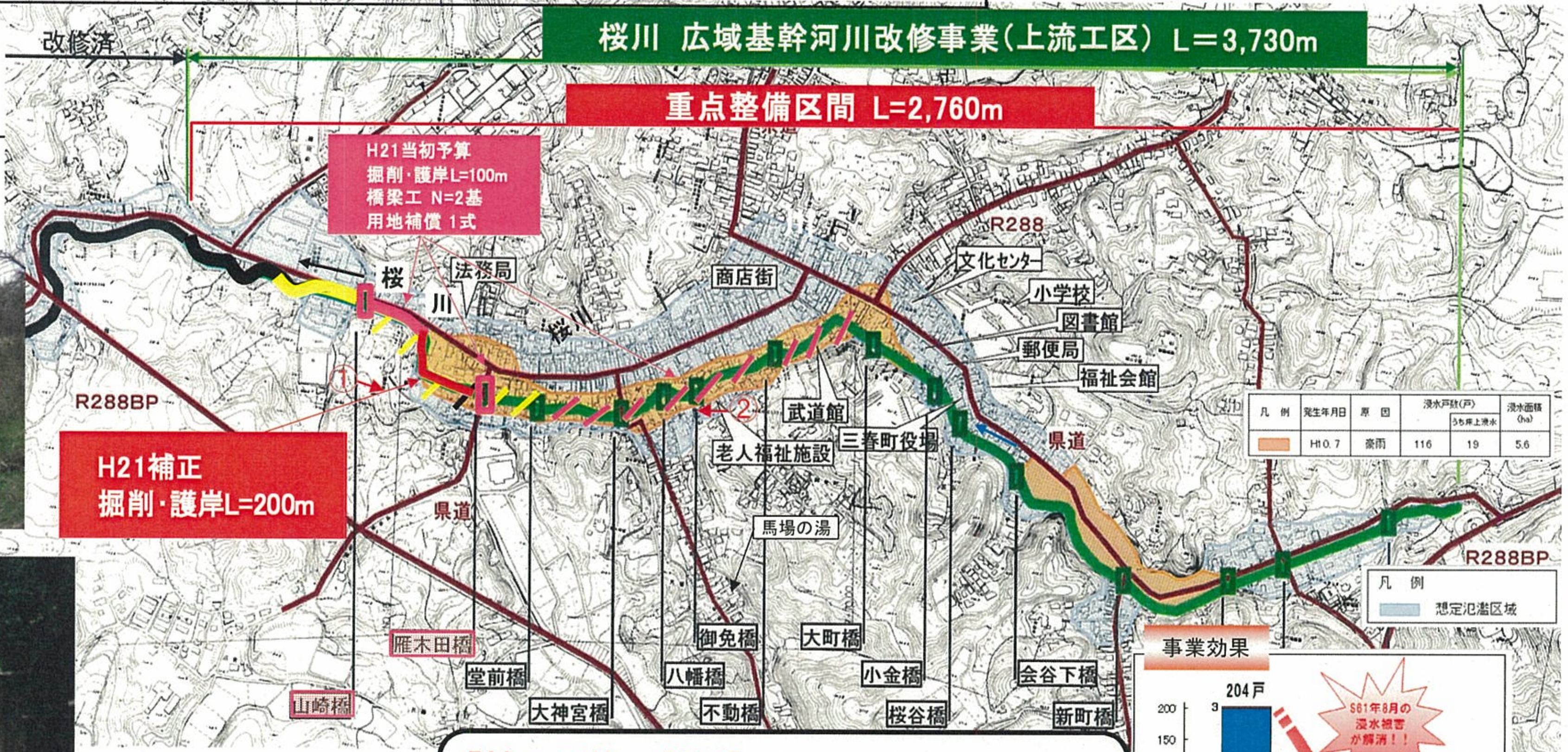


①

H21補正施工箇所

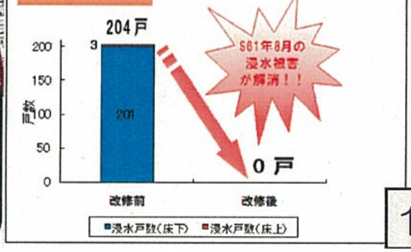
②

H10．7浸水被害状況



凡　例	発生年月日	原　因	浸水戸数(戸)		浸水面積(ha)
				うち床上浸水	
	H10.7	豪雨	116	19	5.6

事業効果



【補正予算の効果】
河川改修約200mを実施し、桜川沿川の人家約30戸を浸水被害から守ります。

問合先：土木部河川整備課　主幹　阿部　TEL024-521-7644

高潮等の被害から、角部内地区(南相馬市)の安全な暮らしを守ります
(人家60戸、市道を保全)

目的

角部内海岸の堤防は、昭和３０年代後半から４０年代前半に築造され、既に４０余年が経過しており、天端および波返しに段差や亀裂が発生したり、遮水矢板が腐食・損傷するなど老朽化が著しい状況にあり、平成１９年９月には天端が突然の陥没を起こすなど、危険な状況となっています。

このため、補正予算を充当し、早期に老朽化対策を行い、高潮等から背後の角部内地区を守る必要があります。

事業概要

事業名	：	海岸堤防等老朽化対策緊急事業
施工箇所	：	南相馬市小高区角部内地内
保全対象	：	人家60戸、事業所等6棟 市道羽和形海岸線

堤防遮水矢板の腐食・損傷

問合先：土木部河川整備課　主幹　阿部　TEL024-521-7644

大水深岸壁を整備し、滞船の解消を図ります

目的

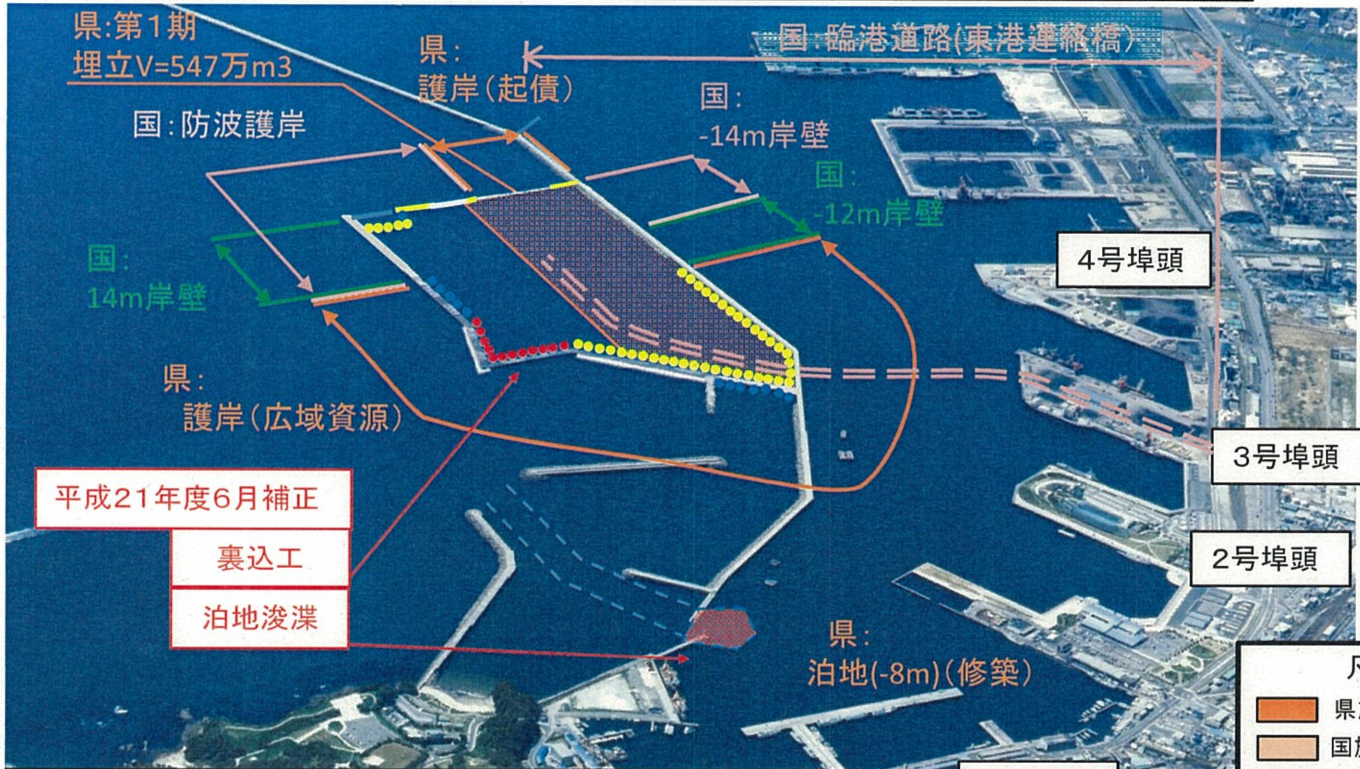
小名浜港では、火力発電所の燃料となる石炭等の鉱産品貨物取扱量の増加、輸送船舶の大型化等に対応できる岸壁が不足しているため、沖合で入港順番を待つ「滞船」が発生しています。このため、新たな大水深岸壁を有する「小名浜港東港地区」の整備を国と県が共同で進めています。また、東港への連絡橋の建設により入港できなくなる、大型漁船等の代替航路として、泊地(-8.0m)の浚渫を併せて行います。

補正予算による効果

平成26年度一部供用開始のためには、平成21年度に外周護岸の締切りを完了し、平成22年度の埋立開始が必要ですが、6月補正により平成22年度施工予定箇所の一部を前倒しして施工することで、平成22年度早期の埋立土の受入れが可能となります。

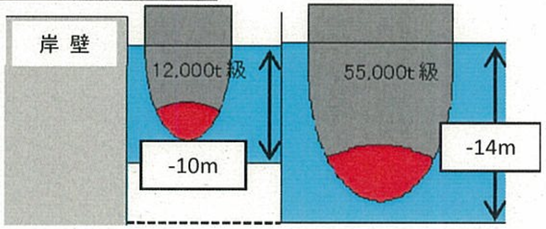
事業概要

事業名　：広域資源活用護岸整備事業
　　　　　港湾修築事業
施工箇所：いわき市小名浜字東港地内
施工期間：平成6年度～平成30年度
　　　　　平成26年度一部供用開始予定
　　　　　(−14m岸壁)
全体計画：造成面積：52ha



滞船状況

船舶の大型化



凡　例
- 県施工
- 国施工(第1期)
- 国施工(第2期)

凡 例
- 平成21年度(元計画)
- 平成21年度(6月補正)
- 平成22年度以降

問合先：土木部港湾課　主幹　八代　TEL024-521-7498

交通の安全確保対策

生活基盤緊急改善事業（県単）～道路の各種対策1～

道路に対する県民からの要望は広域連携の主軸となる幹線道路から、交通量は少ないが集落の生活、振興に欠かせない過疎地域の生活道路など多種多様であり、当初予算や国補正予算では対応ができなかった要整備箇所の中から、次の事業を重点的に取り組む。

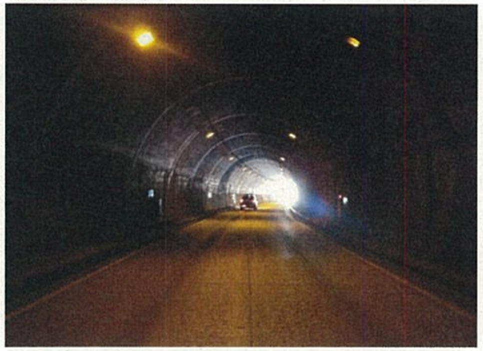
①法　面　再　生　事　業

- 老朽化したモルタル吹付を緑化工法で再生したり、老朽化した防護網を再生する。

県道下郷会津本郷線「大内」（下郷町）

②トンネル照度改善事業

- 暗く見通しの悪いトンネルに内装板を設置し、明るさを改善する。



国道118号「沼尾トンネル」（下郷町）

国道118号「下郷トンネル」（下郷町）

問合せ先：道路管理課　主幹　高橋　電話　024－521－7468

交通の安全確保対策

生活基盤緊急改善事業（県単）～道路の各種対策2～

③ 舗　装　再　生　事　業

● 舗装の老朽化や未舗装により、安全な運行に支障をきたしている箇所の舗装を再生する。

国道294号「唐沢」（郡山市）

④ 見通しスッキリ!!安全対策事業

● 日陰により凍結しやすい箇所の日当たりを改善し、路面の乾燥性の向上や屈曲部で見通しが悪い箇所の改良による視距の向上等により、安全で円滑な通行を確保する。

視距・日陰対策

国道118号「羽鳥」（天栄村）

○重点的に取り組む事業としては、上記①～④以外に以下の２事業がある。

⑤ 転　落　事　故　防　止　事　業

● 人命に係る重大な事故が発生する恐れがある危険な箇所へ、防護柵等を設置する。

⑥ 道　路　案　内　板　設　置　事　業

● 地域外から訪れる人に、分かりやすく案内標識を設置する。

問合せ先:道路管理課　主幹　高橋　電話　024－521－7468

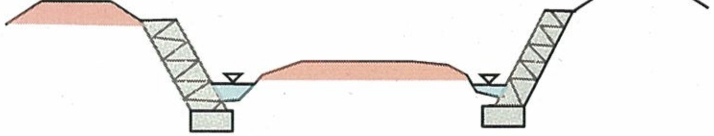
自然災害防止対策

生活基盤緊急改善事業（県単）～河川の各種対策～

河川名：県管理河川	施工箇所：県内全域

河道の掘削築堤

宮川（会津美里町字宮里地内）



河道の掘削築堤を行い、浸水被害を防ぎます。

護岸の改築

濁川（喜多方市上三宮町下三宮地内）

老朽化した護岸を改築し、堤防や背後地の浸食を防ぎます。

問合先：土木部河川整備課　主幹　阿部　TEL024-521-7644

地域活性化を支援する基盤整備　“こみち”による地域間交流

生活基盤緊急改善事業（県単）～地域づくり支援道路整備～

地域づくりの方針

○湖南町地区と羽鳥湖周辺地区間で、「地域を良くしよう」という共通するテーマで活動している各地域の諸団体の知識の共有化や活動の連携等、交流を進めることで、羽鳥福良線を「現代のこみち」として有効に活用し、両地域の発展を目指しています。

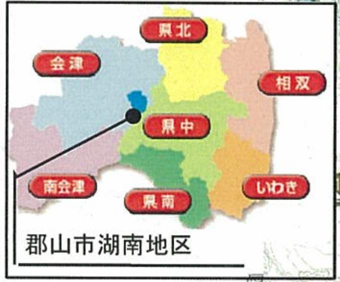
事業の目的と内容

○羽鳥福良線で結ばれた縁で、郡山湖南地区と天栄村羽鳥・湯本地区の交流が始まり、豊かな自然環境が地域の宝であることを相互確認すると共に、地域間交流を進めているが、本路線は、未改良の砂利道であることから、車両の通行に支障をきたしているため、安全な交通の確保を図るため、砂利道の解消と転落防止用防護柵を設置工事を行う。

○全体事業（H20～H２１）簡易舗装工
　L=1，080m　W=4.0（5.0）m
○6月補正実施
　L=600m　W=4.0(5.0)m

地域づくり懇談会

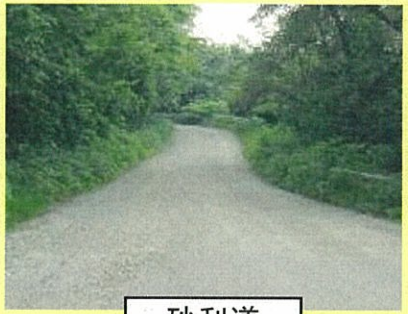
位置図



6月補正による効果

☆ 6月補正により、砂利道を簡易舗装工事を実施することにより、羽鳥地区から湖南地区までの<u>**全線の舗装化が完了し、安全で快適に通行することが出来ます。**</u>

砂利道解消



砂利道

完了後

問い合わせ先：都市総室　まちづくり推進課　主幹　大堀
電話　024－521－7868　県庁内線（3647）